

◆令和3年度 第2回岐阜連携都市圏ビジョン懇談会 開催概要

日 時	令和4年1月31日(月曜日)
場 所	※書面会議として開催
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 連携事業の取組状況について ・重要業績評価指標（KPI）及び基本目標の達成状況について ・岐阜連携都市圏ビジョンの第5回改定（案）について
参加委員	<p>座 長 福士 秀人（国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学）</p> <p>副座長 徳広 圭子（岐阜聖徳学園大学短期大学部）</p> <p>委 員 岩井 浩司（株式会社十六銀行）</p> <p>委 員 川瀬 勝義（岐阜信用金庫）</p> <p>委 員 川合 宗次（社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協会）</p> <p>委 員 神原 義典（山県市PTA 連合会）</p> <p>委 員 林 直樹（公益社団法人岐阜県バス協会）</p> <p>委 員 岩佐 哲司（ぎふ農業協同組合）</p> <p>委 員 河尻 満（岐阜商工会議所）</p> <p>委 員 河野 秀明（瑞穂市商工会）</p> <p>委 員 木野村 文男（北方町商工会）</p> <p>委 員 青木 輝泰（本巣市観光協会）</p> <p>委 員 大谷 磨（笠松町国際交流協会）</p> <p>オブザーバー 塚原 雅巳（岐阜県清流の国推進部市町村課管理調整監）</p>
議事概要	<p>委員からいただいた主な意見</p> <p>議事（1）令和3年度 連携事業の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「病児・病後児保育の相互連携」については、6市町11施設で実施しているが、「教員研修」は17講座あるものの1市のみが対象となっている。ホームページ等で見ると、他の市町教委の研修も魅力的なものがあるため、提供いただければよいと思う。 ・「ふるさと納税の共通返礼品事業」について、年々ふるさと納税を利用している人や認知は増えているものの、今後も成長の可能性を秘めている。共通返礼品については、利用者がどのようなものが好みなのか、その意向を踏まえ、目標値に近づけていただきたい。 ・令和3年度新規事業として「岐阜スウーパス」との連携が掲げられているが、十六銀行も「岐阜スウーパス」のスポンサーとしてスポーツ

を通じた地域振興に取り組む方針としており、本連携事業にとっても期待している。何らかの形で当行も関与していきたいと考えている。

- ・羽島市の加入や新規事業への取り組みもなされており、岐阜連携都市圏としての、更なる発展が期待される。
 - ・新型コロナウイルス感染が収まらない状況下で、人と人が直接関わる事業について、思わしくない結果になっている事業が散見されることはやむを得ないことであると思う。次年度以降へ期待したい。
 - ・「岐阜スーパースとの連携」は、岐阜圏域の市民、町民の同族意識を高めるには有効的な取り組みであると思う。応援意識が定着するとよい。
 - ・「地域公共交通の確保」について、岐阜バスの協力を得て、運賃割引、利便性、イベントの実施など、圏域をまたいだ公共交通サービスを更に充実する。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、取り組む事業に限りもあり、特に「観光資源を活用した誘客拡大交流人口増加」の事業が推進出来なかったのは残念であるが、全体的に見て実施できた事業については、成果があったと思う。今後、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、連携市町の協力を基に事業の推進を図っていただきたい。
- 議事（２）重要業績評価指標（KPI）及び基本目標の達成状況について
- ・達成事業数も年々増え、目標値を満たしていないものについてもコロナ禍の影響を受けているなど、理由が推測できるものなので、健闘していると思う。
 - ・コロナ禍の影響が大きいことによるものと思うが、令和２年度および令和３年度における「観光資源を活用した誘客拡大・交流人口増加」の進捗がゼロとなっている。イベント開催などは難しい環境下にあるかと思うが、少しずつでも誘引できるよう、小規模なPRも取り組みに盛り込んでいければと考える。
 - ・年度毎に着実に達成状況の数値が上がっており、良い事だと思う。コロナ禍という想定外の世間となり、取組が進みづらい事業もあるかと思うが、一歩ずつ確実に進めていただきたい。
 - ・出生者数が年々減少しているが、新型コロナウイルスの感染増加で大都市圏から地方へと向かう動きがある。魅力ある岐阜の地をPRし、安心して仕事ができる、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備をより一層進めるチャンスかと思う。

- ・達成率が年々向上しており、今後も注視していきたい。すべての分野で平均的に達成率が上昇するとよいと思う。
- ・全体的な KPI の達成状況は、令和元年度から少しずつ上昇はしているものの、個々のメニューを見ると新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値に達しない事業もある。今後、目標値を満たしていない事業について、強化を図られたい。

議事（3）岐阜連携都市圏ビジョンの第5回改定（案）について

- ・新規事業の①と②は、いずれも岐阜市発信となっており、今後は他の市町からも新規事業の提案があると良い。
- ・岐阜スーパースポーツについても、岐阜のプロバスケットチームなので岐阜市と笠松町だけでなく他の市町にも積極的に応援していただきたい。特に、子どもたちには幼いときから「本物」「プロ」を見てほしい。コロナ禍であったり、選手・スタッフも忙しいとは思いますが、特に小・中学生向けスポーツ交流は広めていただきたい。
- ・新規創業促進及び産業の振興は地域経済の活性化・人口流入促進のためにも必要な取組みであり、新規事業である「ぎふしスタートアップ支援事業の広域展開」を前向きに進めていただきたい。廃業を抑える意味でも、経営資源の有効活用も出来る廃業予定先とのマッチングも絡めていけると良いと考える。また、岐阜スーパースポーツとの連携事業拡大についても、是非積極的に進めていただきたい。
- ・庁舎跡活用事業では、民間からのアイデアやノウハウを最大限活用すると良い。
- ・NPO 等は、様々な分野で活動し、地域社会に大きく貢献してなくてはならない活動となっている。連携自治体間の NPO への情報共有、共通認識が進めば NPO 活動は地域を越えてさらに活発化することが期待される。
- ・「岐阜スーパースポーツとの連携」については、子ども達にもプロ選手によるスポーツのすごさ、バスケの面白さを実感してもらえるような取組がされる事を期待する。また、チアリーダーによるダンス教室があっても面白い。また、子どものみを対象とした企画もよいが、親子体験もあるとコミュニケーションの一助となる。
- ・庁舎跡活用事業について、圏域の市民・町民も活用しやすいような開発・企画を是非お願いしたい。
- ・北方町は新たに3事業に参加する。大変有意義なことと思う。

- ・「ぎふしスタートアップ支援事業の広域展開」については、将来的に起業を目標としている人達のために必要と考える。事業実施に連携して取り組んでいきたい。また、「庁舎跡活用事業」については賛成である。特に国の行政施設等に活用されれば、近郊住民にとっても利用しやすく便利である。
- ・連携事業参加市町の拡大についても、昨年の羽島市の参加や市町連携の事業の拡大はとても有意義なものであると考えている。

その他

- ・岐阜連携都市圏については、ほとんどの住民が名称すら知らない、関心がないとも言える。NPO は多様な分野で創意工夫し活動しているので、岐阜連携都市圏の既存事業や新規事業あるいは、都市間連携について NPO に広く意見募集してはどうか。
- ・引続き 5 市 3 町の個性を尊重しながらも、皆で力を合わせてよりよい岐阜に発展していく事を期待する。各市町で生活する住民や働いている人々、勉学に励んでいる学生達等、すべての人の為となる取組みであり、すべての人に還元される取組みとなる事を願う。
- ・子供達が被害者となる交通事故のニュースをよく見る。道路等の交通インフラ整備も重要なことであると思うが、特に通学路付近においては子供達の安全確保も優先された道路造り、整備を期待する。結果、地域住民の方々の暮らしの安全につながるものと考えている。
- ・岐阜連携都市圏に各務原市と関市は、連携できないのか。各分野において交流、ネットワーク等で関係が深い市であると思う。
- ・鏡島、三田洞、北方の美濃三弘法について、命日 21 日には三弘法めぐりのバスがあったが今は見かけなくなった。新たな仕掛けができないだろうか。
- ・日本語が話せないが治療が必要な在日外国人が増えており、医者と患者の間の言葉の壁により治療が進まないことがある。外国人の患者が多く受診する病院には、医療通訳の配慮があると安心して治療を受けることができると思う。